

# 郷土の歴史と文化を子どもたちに

## 一本因坊のふるさと幸手



市では、平成19年4月から市内各小学校に囲碁クラブを立ち上げ、現在、多くの子どもたちが囲碁を楽しんでいます。なぜ幸手の小学校で囲碁クラブが始まったのかご存知ですか。

それは、江戸時代の囲碁本因坊家8世伯元・9世察元・10世烈元(本紙3ページ〜5ページ下段参照)の墓石が市内で発見され、3人の本因坊が本市出身と分かったことがきっかけです。本因坊を3代続けて輩出したことは、ほかに例のない、市として誇るべき文化的遺産です。

問合せ 学校教育課 ☎(43) 1111 内線632・FAX(43) 3188

### プロ棋士による入門講座を実施

小学校に囲碁クラブを立ち上げるにあたり、平成19年1月10日に、日本棋院プロ棋士宮崎龍太郎六段、武宮陽光五段を講師にお迎えし、学校囲碁指導員講座を開催しました。また、同年2月6日、7日は宮崎龍太郎、武宮陽光、水間俊文七段の3人のプロ棋士を講師に市内全小学校を回って、小学生囲碁入門講座も開催しました。

▼武宮陽光五段による学校囲碁指導員講座



ほとんどの子どもが囲碁は初めてでしたが、プロ棋士の指導に興味津々の様子でした。

### 囲碁インストラクターがさくら小学校で指導

平成19年4月より、各小学校の囲碁クラブは活動を開始しましたが、モデル校として取組んでいるのがさくら小学校です。囲碁インストラクターの木下かおり先生に、数回にわたり直接ご指導いただきました。木下先生にはほかの小学校も見ていただき、ご指導をいただいています。先生のわかりやすいご指

▶宮崎龍太郎六段による小学生囲碁入門講座



小学校で囲碁クラブを実際に指導していただいているのは、21人の学校囲碁指導員のみなさんです。ボランティアとして各小学校のクラブ活動の時間に、子どもたちに囲碁を初歩から丁寧に教えてくださっています。学校囲碁指導員のみなさんは、地域の囲碁クラブなどに所属し、囲碁を楽しむだけでなく、囲碁の普及にも熱心に取組んでいます。



▲木下かおりアマチュア6段がさくら小学校訪問

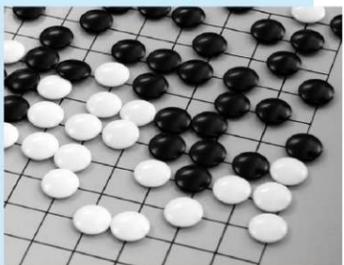
### 小学生囲碁大会が開催されました

囲碁を始めてまだ間もない子どもたちですが、その上達は目覚ましいものがあります。9路盤で打ち始めた子どもたちが、今では13路盤で囲碁を楽しむようになってきました。平成19年11月18日には幸手市文化祭の一環として「第一回小学生囲碁大会」が開かれ、12人の子どもたちが熱戦を繰り広げました。



▲第1回小学生囲碁大会

### 本因坊って何!?



▼本因坊とは「本因坊」は京都市左京区北門前町にある寂光寺の子寺の1つで、その僧侶であった算砂が織田信長・豊臣秀吉・徳川家康に碁を教え、碁界の頂点である江戸幕府の碁所に就いたところから、碁界の一流派の名前になったものです。

代々世襲制をとっていましたが、21世秀哉が引退した昭和14年以降は、本因坊戦の勝者に与えられる称号となりました。本因坊家代々の墓は、3世までが京都寂光寺に、4世以降は東京都豊島区巢鴨の本妙寺にあります。幸手市で発見された3人の本因坊の墓石は、分骨されたかあるいは供養のために建てられたものだと考えられています。

